

令和7年4月13日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

そこに暮らす人の、
大切にすることが、
尊重される市に。



重点政策 1 インフラ、公共施設 の地域性を考慮した適正な配置

救急車の通れない道がある。台風災害からそのまま通行止めの橋がある。区長会や敬老会の開催に適した施設がない。地域内の活動を活性化するために必要なインフラは整備を進めます。

重点政策 2 農業を活用した 交流人口の創出と、地域内交流の活性化

都市部からの「食と農の体験ツアー」を呼び込み、交流人口を創出するための拠点づくりに取り組みます。また地域内の交流拠点としても活用できるようにします。

重点政策 3 地域が一体となってスポーツ、 文化・芸術に取り組める環境づくり

部活動の地域移行が円滑に進むよう、学校と地域の団体、クラブチームが連携しやすい仕組みを作ります。また夏に涼しい佐久の優位性を活かしプロスポーツの夏キャンプを誘致します。

その地域で30年、
50年、80年と暮
らしてきた人た
ちの「声」を市政
に届けます！



無所属・新人
柳沢 大治
やなぎざわ だいじ

私たちが応援します

慶應義塾大学教授 加藤貴昭さん

慶應野球部部長 清水浩貴さん

さくまが倉代表 大井岳夫さん

長野県議会議員 柳澤 潔さん

佐久市議会議員 柳澤 潔さん

プロフィール
1975年3月 佐久市中誕生まれ。
中込小学校、中込中学校、佐久
高校（現佐久長聖高校）卒業、高
岡法科大学中退。三河田地区に妻
と三毛猫（♀）と在住。
2004年～2025年1月 佐久ケー
ブルテレビ（企画室長）／佐久ケー
ブルテレビ勤務20年功労者表彰
／佐久長聖高校同窓会理事／元
佐久市消防団杉の木班班長

小さなことからコツコツと
人が集まり 住みやすい佐久市をめざします。

- 地域経済の成長・雇用確保。
佐久市内各地域の特徴を活かしたアイデアを提言し関係人口の増加をめざします。
佐久市の基幹産業の農業の拡充
空き店舗、空き家を利用した商業施設の推進
- 安心して子育てできる更なる環境を提案します。
出産から育児そして学校生活まで安心、安全で子育て環境の充実を国、県だけの提案だけではなく佐久市独自の子育て支援を提案します。
- 福祉都市としてのさきがけを目指します。
福祉、医療体制に更なる予防体制の充実を提案し長寿都市佐久市から健康長寿都市佐久市へなるよう提案します。
- 危機管理の充実した佐久市に。
台風災害、地震災害、新型コロナウイルス感染症拡大時の早期対応と支援体制の充実。
- 市民の声を議会と行政に届けます。
市民の一人一人の声を聴き市政に届けると共にその想いを形にします。市民からのアイデア等を積極的に取り入れて実行します。

情熱の、第三幕！ 大塚雄一の誓い



おおつか ゆういち
大塚雄一

他者との違いに価値を認める社会へ

荒井かずとし 3つの目標

佐久市の収入を増やし必要な政策を行う

投資と消費を促す政策を実行して地域経済を活性化することにより、結果として佐久市の収入が増えます。移住者やふるさと納税が増加し、クラウドファンディングや国庫補助などを有効に活用することも、佐久市の財政を安定させます。収入を増やすことが、必要な政策を実行するための一番の切り札であると、私は考えます。

防災の重要性

私は佐久市消防団で14年間活動しました。千曲川・湯川とその支流の氾濫・浅間山の噴火・地震などに対して、インフラ整備に加えて、1次避難2次避難の計画をしっかりと整備する必要があります。市民の皆様が自から災害に備えることと、行政の対策とが合致して機能するように、消防団OBとして注視し活動します。

教育子育てと高齢者の生活

コミュニティスクールの活動では、活動を希望する地域の大人の受け入れについて、学校側や制度に課題があります。また発達障害の支援現場では、精神科医が不足しています。活動や支援の現場にある課題と必要な対策を見出して、必要な指針を示したいと思います。高齢者の生活が安心安全であることは重要なことです。そうでなければ若者や現役世代は、老後を心配して貯金にしても消費をしなくなり、若者は結婚せずあるいは結婚をしても子供を持とうとしません。老後の生活が安心なのか不安なのかという問題は、少子高齢化の根本的な要因だと、私は考えます。

プロフィール
昭和45年1月18日生まれ
野村北高校卒業
青山学院大学法学部卒業
衆議院議員 井出庸生 元秘書



荒井かずとし

一人ひとりが大切にされる 街づくり・人づくり

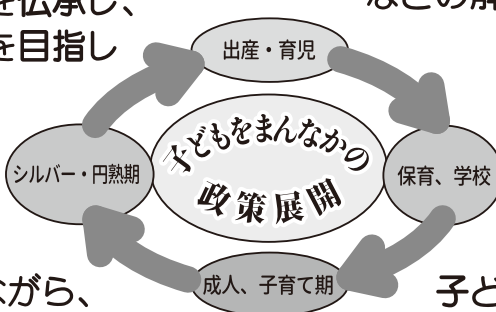
- 国保税の引き下げ。紙の保険証存続を
・12億円の基金活用で、国保税の引き下げを
・資格確認書（今の保険証の代わり）を全員に
- 介護保険料の引き下げを
・12億円の基金活用で、保険料引き下げを
・所得段階の細分化で、払える保険料に
・地方からも介護職待遇改善策を
- 子育てに寄り添う佐久市に
・福祉医療（子ども・障がい者）の窓口完全無料化
・給食費の無償化、自施設炊飯、学校・保育園の給食事業の直営を守る
・ケア労働者、学校司書者、子どもに関わる職員を正規雇用で
・チャレンジ教室、療育支援センター等の充実
- 誰もが生きやすい街に
・店舗等のバリアフリー化補助
・障がい者の多様な就労支援、居場所作り
- 多様な農業支援・後継者育成支援
- 憲法9条を守る 原発ゼロへ！
米軍機の低空飛行訓練ストップ



内藤ゆう子
日本共産党

子どもまんなか社会を目指し！

子ども、孫世代といった将来の人材に対して経験や知恵を伝承し、社会の持続を目指します。



子育てをしながら、地域を支える中心的役割を担っている親の支援をします。

晩婚化、不妊、核家族化による育児不安などの解消

子どもの発達において、教育の充実を大切にします。



たかはし
高橋よしえ

住んでみたい
住んでよかった
戻ってきたい
一緒に創りましょう！

- 1 食を育む
◎休耕農地を活用し、自産自消の推進に取り組みます。
- 2 文化を育む
◎地域の伝統文化の継承に取り組みます。
◎県佐久創造館利用者の活動継続に取り組みます。
◎コンサート、展覧会などの文化醸成イベントの招致に取り組みます。
- 3 心を育む
◎子どもから高齢者まで支え合える地域を目指した福祉教育に取り組みます。
- 4 体を育む
◎子どものころからの教育により、健康寿命の増進に取り組みます。
- 5 雇用を育む
◎保健・医療・福祉の専門職不足の解消に取り組みます。
◎諸官庁の地方分散の受け皿を目指し取り組みます。



佐久市議会議員候補者
あきやま
秋山けんいち

郷土を育み、
さらなる
快適都市へ。

秋山 賢一（けんいち）
プロフィール
(58歳)
・昭和41年 佐久市生まれ（住所：長土呂、本籍：長久保）
・岩村田小学校、浅間中学校、岩村田高校、拓殖大学（工学部）卒
・NTT（現NTT東日本）法人営業課長（参事）を歴任
・学校法人佐久学園（佐久大学）事務局長を歴任
■長土呂区副区長（12年間）
■佐久平浅間小学校開校
■新小学校建設地域協議会 委員
■新小学校通学路検討委員会 委員長 歴任

経験と実績、そして行動力

プロフィール ・佐久市議会議員 4期 ・佐久市議会議長
・佐久市監査委員 ・佐久市議会総務文教委員長

令和7年4月13日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

地域の現場と対話！ 声を届けます！！

- 「出逢い」「ふれあい」「助け合い」の街へ。
5年先、10年先、次世代も心豊かにイキイキ暮らせる街！！
- 子育て支援拠点施設の充実
 - ◆ 子育て支援の充実
 - ◆ 交流・相談できる空間づくり
- 地域包括支援センター！
お年寄りが安全に暮らせるまちづくりを
- ゴミの分別・諸問題
私たちが出来る身近なSDGs
- 暮らしやすさを高めるまちづくり
 - ◆ 空洞化している街中の整備と防災
 - ◆ 地域での助け合い、相談できる関係性
 - ◆ 環境づくりを子育て世代と共に考えていきます



土屋ひろこプロフィール

- 昭和27年野沢生まれ
- 長野県野沢北高等学校卒業
- 音楽科・バレエ科で活動しました
- 67回卒業
- 日本大学芸術学部 演劇学科卒業
- ベルミュージック入社
 - ・松本和歌山ボクシングスクール
 - ・早川正雄・コ・アインツ
 - ・横濱みどりコンサート
 - ・岡田奈々コンサート
 - ・ハンドベル製作 等に従事しました
- 現 佐久市議会議員 鶴壽司女将

女性目線でつなぐ
佐久の未来



佐久市議会議員候補者
土屋ひろこ
つちや

佐久市を
移住先日本一に！
～愛される街を共につくる～



くわばら
桑原だいすけ
新人無所属 44歳

なぜ立候補したの？きつかけは？
2021年に家族で移住。PTAや祇園祭など地域活動に参加した際、空き家や担い手不足など人口減による地域課題があると教えてもらいました。そこで、地域と移住者を繋ぐために移住者向け不動産会社を開業。次第に、市政からも街をより良くしていきたいと思ったのがきっかけです。

なぜ移住先日本一にすることが大事なの？
人が減れば、働く人も減ります。働く人がいなければ、サービスは受けられません。会社もお店も教育も福祉介護も同じ。子ども・大人・シニア、全ての人にとって重要な問題なのです。それには、人口を増やすこと、とはいえ、簡単には増えません。そこで大事なのが佐久市へ移住する人を増やすことです。

移住者を増やせば、それでいい？
いいえ、移住者の街にはしません。移住者だから、地元からではなく互いに敬意を持ち、「どうすれば、佐久市をもっと住みよい街にできるか」市民と行政で対話していく。そんな取り組みを市政から行っています。

なぜ今、取り組む必要があるの？
人生にとって移住は大きな決断です。佐久市が好きだな、住んでみたい。でも、そう思うままには時間が掛かります。だから、今。

より良いあなたの未来のために
桑原だいすけに一票をお願いします

県行政の経験を活かした3つの力で
重点政策を実現します

持続可能な未来へ、一歩ずつ共に進む
市民・企業・地域と行政が手を取り合う強固な連携づくり

若者が誇れる、活気ある佐久へ

- 若者や子育て世代を応援し、地域産業と人材育成を支援
- 住民や企業など地域と学校の協働を深める「コミュニティスクール」の推進

つながりを生かした、暮らしやすいまちづくり

- 「佐久市まちづくり活動支援金事業」の拡充と地域おこし協力隊の活動促進
- 空き家の解消、公民連携によるまちなか活性化

安心して暮らせる医療・福祉・防災の強化

- 佐久市の医療体制をさらに活かし、救急医療・介護の連携を強化
- 市立国保浅間総合病院の医師・看護師の確保、医療・介護人材不足の解消
- 電線地中化の推進による防災対策と景観形成
- 地域防災マップを活用した防災訓練の定着化



元長野県職員
たかの
鷹野ゆうじ

幸福度100%の街を、みんなでつくる。
小さな声を聞き、議会へ届けます！

47歳



こまつ
小松みほ

子育て、教育、不登校
産前産後ケア、多様性と主体性を尊重する公教育、不登校児童・生徒の居場所作り。

過疎地の医療・地域交通
川西赤十字病院の役割を高度医療施設退院後の受け皿として、高齢者を支える体制を。

認知症と生きる街
認知症でも、権利を守られて生きる街に。介護する家族の負担も軽減する体制を。

ジェンダー平等
性別に関わらず、共に等しい権利と機会を得るために、社会環境を整備していきます。

環境問題・気候危機
災害に強い佐久市をつくる。循環型社会の実現に真っ向から取り組みます。

動物福祉
猫の去勢・不妊手術に取り組み、地域猫が命をまっとうできる社会を目指します。

プロフィール：佐久市協和在住。国際交流 NGO 団体、障害児自立支援施設勤務を経て、現在は夫と三人の子どもと共に浅科で鉢花農業を営む。
● 地域での活動 『佐久のこどもを守る会』では、給食食材の放射性物質検査を佐久市に求めて実現。望月お弁当プロジェクト／『花とハーブの楽園マルシェ』／浅科『ほっとばーくマルシェ』などの企画・主催
子ども100人会議佐久主宰／『弁当の日』『夢みる校長先生』上映会など



公式アカウント
無所属

改革の実績と経験
日本維新の会
小金沢あきひで

社会保険労務士として、総務省にて消えた年金問題を調査。社会保障制度改革を提唱。2011年、維新政治塾一期生として改革を志し、2013年の佐久市議会議員選挙初当選。佐久市議会成和会代表。地域猫運動に携わり、これまで数十匹の野良猫を保護、自費で去勢手術を実施。妻と子供2人の4人暮らし。趣味は登山とドライブ。座右の銘は「敬天愛人」

佐久市政10の重点政策

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① 公共施設のバリアフリー化 | ⑥ 市民の所得向上 |
| ② 子育てしやすいまちづくり | ⑦ 農林水産業の強みを生かす |
| ③ 松本佐久連絡道路の早期実現 | ⑧ 埋蔵文化財・指定文化財の活用 |
| ④ 災害に強いまちづくり | ⑨ 人手不足の解消 |
| ⑤ 星のまち佐久市を売り込む | ⑩ 物価高騰・原油高対策 |

プロフィール Profile
・1956年 白田町(現佐久市上小田切)に生まれる
・切原小学校、白田中学校、野沢北高校、中央大学卒業
・会社員を経て社会保険労務士
・2013年 佐久市議会議員初当選(現在2期目)
・日本維新の会 長野県総支部政調会長
・総務文教委員会副委員長等歴任



小金沢
あきひで

みんなの声を市政へ
～市政との架け橋になります～

- | | | |
|--|---|--|
| 【主な活動】 <ul style="list-style-type: none">○ 佐久市佐久平女性大学卒業(第二期生)○ ぬくもり絆プロジェクト設立○ 市内にて子育て支援(子ども食堂等)など実施中○ 佐久市総合計画審議委員○ 新佐久市誕生20周年記念事業実行委員○ 一般社団法人佐久産業支援センターアドバイザー | 【基本政策】 <ul style="list-style-type: none">◆ 安心・安全な子育て支援と教育向上◆ 女性も暮らしやすいく優しさを感じる佐久市へ◆ 家族が仲良くなれる街づくり◆ 市政をもっと身近に、もっとわかりやすく◆ 多世代が安心してつながり支えあう社会へ | 【お約束します！】 <ol style="list-style-type: none">1 みなさまの声を聴く『しゃべり場』を毎月開催します！
世代を超えて様々な意見を交換し、みなさまの声をしっかりと市政に反映させていきます。2 佐久市が進めるデジタル化！
高齢者も安心して使えるサポートを。高齢者向けに勉強会やサポートを、都度行っています！ |
|--|---|--|



やまざわ
ともこ
佐久市佐久平
女性大学卒業生

令和7年4月13日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

11の重点政策

- 少子高齢化と人口減少対策
- 地域医療の確保
- 公共交通の整備
- 防災・減災対策
- 産業振興と雇用創出
- 教育環境の整備
- 環境保全と持続可能な開発
- 空き家対策と移住促進
- 観光振興と地域ブランドの発信
- 行政のデジタル化推進
- 議会改革



令和6年度カトリック幼稚園PTA会長。長野県佐久保護区保護司。佐久商工会議所1号議員。佐久市ホテル旅館組合長。佐久市観光協会副会長。中込商店会協同組合副理事長。中込科教組合役員。佐久食品衛生協会中込支部役員。中込中学校同窓会事務局長。佐久納税貯蓄組合理事。佐久観光会理事。佐久法人会会員。佐久市接客業防犯協会役員。佐久青年会議所シニアクラブ副会長。佐久コスモスロータリークラブ会員。佐久防犯協会連合会代議員。佐久市姉妹都市・友好親善協会理事。佐久市高速交通網建設促進期成同盟会代議員。佐久平防衛協会理事。長野県旅館ホテル組合理事。佐久市観光協会理事。佐久市立中込中学校コミュニティスクール推進委員。佐久市立中込小学校コミュニティスクール推進委員。中込地区親睦会幹事。びんころ会会員。

小さな子どもから高齢者まで
みんなの幸せを求めて
私を育ててくれた大好きなこの地域に元氣を取り戻したい。



佐久市議会議員候補者
清水秀三郎
ひでさぶろう
57歳

100年先へと続く佐久市を、 あなたとともに作りたい

1. 地域で子どもを育む「まち」へ
こどもの有無にかかわらず、多世代で子どもを見守る
地域づくりやこどもの自律性を育む開かれた学校づくりを！
2. 大人がもっと生き生きとした「まち」へ
企業の本社誘致等により経済を活性化するとともに、子育てとの両立、就農、起業等、大人の一步を応援する佐久市に！
3. 学び、攻める議会へ
他地域の好事例に学び、地域に出向いて市民の声を聴き集め、
佐久市の魅力を引き出す攻めの議会へ！



しのぼり
四登なつき
国民民主党
38歳・二児の母

過去の出来事：東京都知事選に出馬した石丸伸二氏が行った安芸高田市の副市長公募にて4115名の中から内定（後、議会により否決）。

小さな声をカタチに 希望ある明日へ 小林としはるがやりました!!

- ★子どもの人権を守り、よりよい教育環境を整備！
佐久市こどもの権利条例を制定 タブレット端末による小・中学生の相談窓口実現
- ★防災力・減災力を強化！
防災・行政無線の内容を確認するフリーダイヤルを開設 防災士有資格者を組織化

小林としはるの3つの約束

- 1 若者・現役世代が希望を抱ける佐久市へ！
若者の声を直接市政に届ける仕組みを構築
就労環境を改善し、働き口の拡大、待遇の向上を推進
- 2 女性・子育て世代に寄り添う佐久市へ！
女性・子育て世代への専用相談窓口を設置 5歳児健診の公費助成を推進
- 3 誰もが安心してずっと住める佐久市へ！
デマンド交通の利便性向上、買い物支援の拡充、防災・防犯情報発信方法の拡充

小林としはるのプロフィール

- ◆1956年1月2日生まれ ◆佐久市議会議員 現2期
- ◆長野県北佐久農業高校、拓殖大学政治経済学部 卒業
- ◆趣味：スポーツ、料理



小林としはる
公明党公認

笑顔あふれるまちづくり！

- 子どもたちを支えるまち
子育て世代への手厚い支援、生涯にわたって学び、生きる力を育む教育環境を目指します。
●保育料の軽減や一時預かりサービスの拡充など、子育て世代の負担軽減につながる取り組みを推進します。
- 公共交通の利便性向上
高校生や高齢者のニーズを反映した公共交通の運行形態の見直し、アクセス改善を目指します。
●高校生や高齢者を対象としたアンケート調査を実施し、ニーズに基づいた運行スケジュールを策定します。
- 市民の声を活かす市政の実現
市民の意見を政策に反映させ、行政の透明性を高めます。
●定期的にタウンミーティングを開催し、重要な政策について市民の皆様と意見交換を行います。
- 地域経済の活性化と魅力発信
佐久市の隠れた魅力を再発見し、地域経済を活性化させます。
●中山道、文化遺産、伝統行事や夏祭り、温泉、天文関連施設、豊かな自然をはじめ、佐久市が持つ豊富な資源を磨き上げ、地域経済の活性化を図ります。



たけいし
武石まさひろ
無所属・新人
49歳

子ども達の 笑顔あふれる街へ

- 佐久市を小学生に特化した合宿の聖地に！
- 芸の蔵構想
- 芸術・観光の地域連携構想
- 地震・有事などに備え、地下情報センターを誘致
- 歩行者に有益な反射板構想
- 佐久市に誘客のためにヘリポートの設置を提案
- 見守り隊の佐久市全域での組織化構想
- 登下校時に一緒に歩いてもらえる「歩き隊」構想
- 山城等をVRなどで再現した「御城印」構想
- デジタルノマド誘致構想

●プロフィール

- 1965年／彫刻家城田孝一郎(信州美術会会長)の次男として東京都清瀬市に誕生
- 1990年／沖縄県立芸術大学陶芸専攻卒業
- 1992年／東京芸術大学大学院陶芸科専攻修了
- 1994年／愛知県立芸術大学研究生修了
- 1998年／家族と共に佐久市に移住
- 2011年／佐久市立東児童館館長
- 2021年／佐久市市議会議員



しろた
城田領
りょう

健康で元気な佐久市をつくります！

- 子育て支援の充実や若者が定住できる環境づくり、地域資源を生かした観光振興、さらに、持続可能な未来のための取り組みを重点に進めていきます。
- 市民の皆様との対話を大切にし、地域の課題解決に向けた橋渡し役となるよう努めます。
- 高齢化対策、人口減少対策をすすめます
公共交通や、認知症対策の充実、子育て世代や若い人たちが地元で働いて、家を建てられるような柔軟な対策をめざします
- 子育て支援・教育支援を充実させます
多様なニーズに対応した働きやすい子育てや教育の環境作りや、安心して充実したクラブ部活動が出来る支援をめざします
- 若者が移住・定住できる環境づくりをすすめます
空き家バンク等空き家対策を充実させて移住拠点を整備して、高速交通網を利用した2拠点移住や、農業、林業移住をしやすい環境を推進します
- 地域資源を生かした産業や観光振興に取り組みます
佐久市の森林資源を生かして、木質バイオマスエネルギー利用推進や、里山など地域の自然を生かした観光振興へ取り組みます



木内よしはる

令和7年4月13日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

命とくらし最優先に

市民の目線で行政をチェック 願いを届けます

願い実現へ、トコトンがんばります

- 国保税、介護保険料の引き下げを
- 学校給食費無償化を
- 障がい者、子どもの医療費完全無料化を
- デマンドワゴンの土日祝日運行タクシー補助創設
- 鳥獣被害対策の拡充・強化
- 農業関連費用への補助充実
- 河川の改修整備、生活道路の補修、通学路の安全確保
- 民間活用など穂の香乃湯の存続を
- 消費税廃止へ、まず5%へ
- 憲法9条守れ 原発ゼロ

市民の要望を聞くこと、地域の願いを市政に届けることを大切に、欠かさず一般質問を行ってききました。いま、「物価高で、もう暮らしは限界」との切実な声が寄せられています。「お金がない」と市民の要望には応えない市政。お金がないわけではありません。10億円の繰り上げ返済見直し、342億円の積立金活用など、税金の使い方を、くらし優先に変えれば、市民の願いは実現します。いっそうのご支援をよろしくお願いいたします。

佐久市議5期 1956年生まれ 小諸高校卒 佐久市職労書記局勤務 望月9条の会会員・望月町議2期



小林まつ子

日本共産党

佐久の明日を夢見て
今を歩む!!



後援会HP



① 子育て支援の推進

- 子育て支援のネットワークの強化(福祉と教育のコラボレーション)
- 給食費食材高騰分の公費補助●こどもの貧困問題や居場所づくり
- 若者の佐久市への移住促進

② 高齢者福祉の充実、医療と介護の更なる連携

- 医療と介護の更なる連携●介護に従事する方々の待遇改善
- 独居高齢者の見守り活動●デマンドタクシーの更なる利便性

③ 農業の振興

- 人材育成と新規就農支援●スマート農業導入に対する補助金
- 耕作放棄地の有効活用●有害鳥獣による被害対策の更なる推進

④ 災害に強いまちづくり

- 災害弱者への避難支援や情報伝達の強化
- 自然環境破壊による太陽光発電の中止
- 太陽光発電の規制に関する条例の制定●脱炭素社会の更なる推進

⑤ 観光の力で交流人口の創出

- グリーンツーリズムの展開●公共交通の改善
- 中山道ウォーキングの推進●インバウンドの推進

- プロフィール
- 昭和35年3月／旧浅科村塩名田に生まれる(3月9日・佐久の日生まれ)
 - 昭和53年3月／野沢北高等学校卒業
 - 昭和58年3月／早稲田大学社会科学部卒業
 - 昭和58年4月／東急観光株式会社(現・東武トップツアーズ株式会社)に入社 長野仕入センター長歴任
 - 平成29年4月／佐久市議会議員当選(現在2期目)



高柳ひろゆき
たかやなぎ

つくる まもる 元気な佐久市

地域と人と文化を考えます

文化政策について

地域が明るく元気で創造性に富んだ場所になること。文化や伝統をしっかりと生活に位置付けていくことが、これからの地方創生の要であると確信しています。文化振興は地域振興です。そのために今まで以上に取り組んで参ります。

教育政策について

多様化する教育環境の中で、また選択肢の多い佐久市の教育環境の中で、生きづらさや居心地の悪さを抱える子どもたちに、どのような手を差し伸べられるか。工夫できることはないか。若者たちの自己実現のための政策に取り組んで参ります。

環境政策について

鳥獣被害問題や、耕作放棄地、荒廃した農地や山林は自然災害の原因ともなります。防災や減災も含め、佐久市の誇れる豊かな自然を維持し、持続可能な里山づくりに取り組んで参ります。



小林ひであき

49歳

4年間の議会活動(主な質問等)

- ・市内で最も過密な佐久城山児童館の館座を拡張へ
- ・佐久創造館の閉館で市民の文化活動拠点が失われないように
- ・中学部活の地域移行は全ての子が希望のスポーツ文化に触れられる仕組みに
- ・「不登校の出現率」を不登校対策の目標にしていたのを改善
- ・子どもの重要な居場所・民間学童クラブに寄り添った支援を
- ・学校図書館の蔵書更新にしっかりと予算措置を
- ・非正規職員である中央図書館長は他市並みに正規任用を
- ・生活保護を必要の人がためらわずに申請できるよう「しおり」の表現を改善
- ・「香害」の深刻な実態を踏まえた周知強化と適切な対応を
- ・食育の後退につながる浅科小給食室の廃止に反対

経歴
1992年 北海道大学文学部卒
1992～2010年 読売新聞大阪本社記者
2010年春 家族で佐久に移住し「八葉農園」開業。
年間約70種類の無農薬野菜を育てています
2014年度 佐久城山小学校 PTA 会長
2021年度 中込中学校 PTA 会長
高校中心に食育、読み聞かせ、学習支援など活動中
【佐久市瀬戸在住】



しおかわ浩志の約束

- ◎市民目線 ～ 困っている人に寄り添う市政
- ◎未来へ ～ 子育て・教育を大切にします
- ◎情報発信 ～ 「佐久の今」をわかりやすく発信

日々の情報発信



しおかわ浩志

POINT 小中学校の給食費無償化

子育て世帯の負担軽減を図るため、県内居住地により格差がある給食費の無償化の早期実現を推進します。

POINT 女性活躍社会の実現を

女性の思いや願いが大切にされ、女性のあらゆる場への社会進出を応援します。

POINT 均衡ある発展を目指し、周辺地域を元気に！

合併から20年、中心部と周辺部において「過疎」と「過密」が両極端に進み、格差が広がっていることが大きな課題です。地域間格差や隔りを是正し、周辺部の活性化に力を注ぎます。

POINT 教育の充実 ～子ども達の未来のために～

- 高等教育の充実
- 教育費の負担軽減
- 部活動の地域移行に対する支援
- 教員の働き方改革による教育の充実
- 増加している不登校の子どもへの支援
- 児童・生徒の特性にあった学びの体制整備
- 佐久大学等、地元校が選ばれるための支援

県議・市議の豊かな経験が、佐久の未来をつくる！

POINT 文化・芸術に親しむ環境づくり

全世代の市民が美しい芸術・文化に触れられる機会の創出を図り、心豊かでさらに幸福度の高い街づくりを推進します。

POINT 介護・看護・医療・福祉・交通手段の充実

住み慣れた地域で豊かな人生を送れるよう、看護・介護人材の育成支援など、高齢者にやさしい佐久市を推進します。

POINT 道路交通網の充実と災害に強い街づくり

道路の強化や河川改修・生活道路の維持補修。中部横断自動車道・松本佐久連絡道路等の建設促進・早期開通を目指します。

POINT 皆様の思い・願いをカタチにするために！

皆様の声にしっかりと耳を傾け、地域の願いがカタチになるよう、課題を調整・提案して参ります。また、行政の出来る事、その可能性を広げてまいります。



竹花みゆき

無所属



小林「51歳」
たかゆき

引き続き「小林たかゆき」に皆さんの大切な一票をお願いいたします。

1973(昭和48)年、佐久市生まれ
住所／岩村田(一本柳)
本籍／中佐都(常田)

- 【略歴】
- 岩村田保育園、岩村田小、浅間中、岩村田高校、法政大学卒業
 - 元 第80代内閣総理大臣羽田孜秘書
 - 元 参議院議員羽田雄一郎公設秘書
 - 佐久市議会議員(現在5期目)

- 【主な議会活動】
- 佐久市議会総合交通対策特別委員長
 - 佐久広域連合議会総務委員長
 - 元 佐久市議会議長(第6代)
 - 元 佐久市議会総務文教委員長
 - 元 佐久市議会予算委員長(初代)
 - 元 佐久市議会議会運営委員長
 - 元 佐久市議会高速交通網特別委員長
 - 元 佐久水道企業団議会議長
 - 元 長野県市議会議長会副会長
 - 元 全国若手市議会議員の会事務局長

- 【主な地域活動】
- 佐久市消防団一本柳班長(元音楽隊員)
 - 日本・エストニア親善協会副会長
 - 岩村田高等学校同窓会常任理事
 - 法政大学校友会東信法友会副事務局長
 - 佐久長聖中学・高等学校後援会幹事
 - 佐久学舎佐久こまば会副会長
 - 佐久市柔道協会会員
 - 佐久熱気球クラブ会員
 - 佐久ロータリークラブ会員



◎市民の協働で築く、佐久平らしいまちづくり
◎愛着を育む、活力みなぎる元気なまちづくり
◎誰にも安心で、快適な住みよいまちづくり

豊かな経験と
安定感ある確かな行動力で
皆様の声を市政につなぎます。

こばやし たかゆき
小林 貴幸
ホームページ

皆さまの大切な一票を竹花みゆきに託してください。

令和7年4月13日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

安心と安全を未来へ!!

経験と実績を活かし
行動力をもって全力で進める

①安心で安全な街づくり

- 相次ぐ豪雨や大型化する台風などいつ起こるかわからない自然災害から命を守る防災・減災対策に取り組みます。
- 地域防災の要である消防団の活動を応援いたします。

②住みやすく活気あふれる街づくり

- 人と人とのつながりを大切に、地域のコミュニティーの活性化に取り組みます。
- 子供を安心して生み育て、子供が健やかに成長できる街づくりに取り組みます。
- 都会からの移住・交流の推進や若い人が活気づく街づくりに取り組みます。

③自然豊かな街づくり

- 豊かな自然と環境を守るため、農業と林業の振興に取り組みます。
- 食の安全を守り、健康を育むために農業の振興と農村部の活性化に取り組みます。
- 自然災害から地域を守るため、健全な森林づくりに取り組みます。

■経歴

旧臼田町消防団団長（6年）
佐久市入澤区長（12年）
佐久市臼田地域区長会 会長（2年）
佐久市田口用水組合長（10年）

■賞歴

秋の叙勲 瑞宝単光章受賞
国土交通大臣表彰
内閣総理大臣表彰
総務大臣表彰



わたなべかずお
渡辺一夫

声をつないで「街づくり」

優しい佐久市になるための7つの柱



かとう
加藤ゆきこ

ゆうきと
きぼうを胸に
とっこつと!!



プロフィール

東京都出身53歳 日本工学院専門学校放送芸術課程卒業
ベルリッツ・ジャパン株式会社に語学スクールの店舗マネジメント職を担う
2016年 第一期地域おこし協力隊として佐久市臼田へ移住
NPO法人うすだ美図会（現理事）としてまちづくりに携わる
2021年 佐久市議会議員初当選 任意団体子育てサポートこだまを立ち上げ、子育て保護者向け講座や、子ども食堂等の活動をしている



ホームページ

「ともに」の力で未来へつなぐ

共存・共栄・共生

きつく
かわる

安心して暮らせる笑顔が続く社会

子どもが日々健康的に楽しく遊び・学ぶために、家族のみでなく地域全体でかわり子育てを応援します。世代を超えて子育てにかかわることで人とのふれあいや生きることの知識が増えて、その知識が知恵へと育っていきます。それは子どもにとっての心と身体づくりに大きく影響していくと考えます。

つめ
まもる

農業は生命と地球を守る

日本人の主食は「お米」一度田んぼを止めてしまうと、水田にはなかなか戻せません。水田の役割は洪水を防ぐことや一時的ダム機能や水をきれいにし、人や環境などに対しても役立つ働きがあります。農業はいのちをつなぎ、人を育てていくエネルギーも持っています。

たべる
つなぐ

生きることは食べる

私たちの身体は食べ物からできています。何を食べるかによって身体も変わると考えられます。食べ物を知る力・食べ物をつくる力・食べ物を選ぶ力を身につけること。そして、食事はよく噛んで食べることで、脳もしっかり働かせることができます。



よこい
山浦よこ

柔道整復師の経験から佐久市を元気にする

子育て世代・高齢者が いつまでも元気な佐久市に！

横井ひでなりの約束する4つの政策



よこい
横井ひでなり
(39歳)

中学生の成長を支える
運動環境の整備
冬季に中学生の部活動が短時間しかできない現状は、子どもたちの発育に悪影響を与えます。綾島地域スポーツクラブを地域に定着させ、室内で十分な運動ができる環境を提供します。

高齢者の健康寿命を延ばす
運動習慣の促進
運動不足による心身機能の低下や転倒リスクが、高齢者の自立を妨げる原因となっています。地域スポーツクラブを通じて、高齢者が気軽に参加できる運動プログラムを提供します。

地域の防犯力を高める
「見守り拠点」の設置
地域に防犯意識を高める場が不足しており、子どもや高齢者の安全確保が課題となっています。スポーツクラブを「地域見守り拠点」として機能させ、市民が集まることで地域全体の防犯力を向上させます。

災害時の避難拠点としての活用
災害時に避難所として機能する施設や体制の強化が求められています。総合型地域スポーツクラブを防災拠点として整備し、非常時にも市民が安心して避難できる場所を提供します。

プロフィール

1985年	生まれ 39歳	2008年	柔道整復師として働く
1996年	袖ヶ浦西小学校卒業	2016年	結婚
1999年	秀明八千代中学校	2018年	妻の実家である長野県佐久市に移住
2007年	亜細亜大学卒業		いわむらた鍼灸・整骨院開業

妻と3歳5歳の
子どもの4人家族

あなたが大切にされる佐久市を



日本共産党
三石さとし
39歳

物価高から生活を守る

- 国保税・介護保険料の引き下げ
- 学校給食費の無償化、給付型奨学金の拡充、若者世帯への家賃補助
- 子どもの医療費完全無料化に
- 防災減災へ、河川の改修整備を
- 生活道路の補修、下水道の点検を
- デマンドワゴンの土日祝日運行、タクシー補助制度創設
- 鳥獣被害対策の拡充・強化
- 児童や保護者に寄り添った臼田地域の児童館の配置を
- 消費税率止へ、まず5%に
- 憲法9条守れ原発ゼロ



佐久市入澤在住。1986年生まれ、39歳。岩村田高校・長野県立工科短期大学校制御技術科卒。市内の製造業勤務。民青同盟長野県委員長。現在、佐久市議1期、佐久市入澤消防団団員。家族は妻と1女

いま、「物価高で、生活が苦しい」「仕事も子育ても大変」「市に要望しても、『お金がない』と応えてくれない」市民の切実な声が寄せられています。10億円の繰り上げ返済の見直し、342億円の積立金活用など、税金の使い方を変えれば、市民の願いは実現できます。私は、皆さんの声を届け、提案し、願い実現へ全力を尽くします。



実現!!

小・中学生向けタブレットによる相談窓口『タッチ』を設置!



実現!!

市立保育園での不衛生な紙おむつ持ち帰りを解消!



実現!!

高校卒業まで児童手当拡充! 子ども医療費の助成が実現!



実現!!

障がい者手帳アプリ『ミライロID』を導入!



実現!!

乳幼児一カ月健診、新生児聴覚検査の公費助成



実現!!

市営住宅の連帯保証人を2人から1人へ緩和



実績で選ぶなら 渡辺やすのり

やりやす3つの約束

- ①若者の声を直接市政に届ける仕組みを作ります!
- ②女性・子育て世代に寄り添う専用相談窓口を設置します!
- ③デマンド交通の利便性向上と買い物支援を拡充します!

渡辺やすのりプロフィール

●1969年8月9日生まれ 55歳	●佐久市議会議員 現1期
●佐久市立東中学校 卒業	●私立佐久高校 卒業
●元シチズンファインデバイス(株) 勤務、元(株)細萱食品 勤務	



公明党公認
渡辺やすのり

令和7年4月13日執行

佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会



これからの市を決める大切な選挙です。

必ず投票しましょう！

令和7年4月13日執行

佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

佐久市議会議員一般選挙 佐久市長選挙



令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
佐久市審査 小学校の部1等

東小学校6年 花里ひよりさんの作品



令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
佐久市審査 小学校の部2等

佐久城山小学校6年 佐藤祥太さんの作品



令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
佐久市審査 小学校の部3等

臼田小学校6年 千野愛実さんの作品



令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
佐久市審査 中学校の部1等

佐久長聖中学校1年 松本萌英さんの作品



令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
佐久市審査 中学校の部2等

佐久長聖中学校1年 村上 彰さんの作品



令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
佐久市審査 中学校の部3等

佐久長聖中学校1年 辻 麻央さんの作品

投票日 4月13日(日)

投票日当日都合が悪い方は期日前投票ができます
4月7日(月)から4月12日(土)

佐久市選挙管理委員会・佐久市明るい選挙推進協議会

選挙ホームページ



令和7年4月13日執行

佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

投票のご案内

- 1 投票日 4月13日（日）午前7時から午後8時まで
- 2 佐久市議会議員一般選挙の投票の方法は記名式です。
投票用紙に **候補者の氏名を1人だけ** はっきり書いて投票してください。
- 3 入場券は郵送でお届けしてあります。中開きのはがき1枚で1世帯4人分まで記載されています。
紛失などで入場券がない場合でも選挙人名簿に登録されていれば投票できますので、投票所で係員にお申し出ください。
投票日当日、佐久市に住所を有しない方は、入場券が郵送されても投票することができません。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したもので、掲載の順序は選挙管理委員会のくじにより決めたものです。

